

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内 (〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話・FAXは上記の番号まで)。
◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

牧野長官に再検討を申し入れる

全国税は、11月30日、牧野長官に「昼休みの時間帯の対応策についての再検討を求める申し入れ書」を提出しました。
以下、「申し入れ」の要旨を掲載します。

「と書かれている。おそらく、外部を含む相談会場も窓口対応部門にあたる」として「昼休みの時間帯を開こう」ということだとすると、重要な労働条件の変更である。

この新しい施策は、来年1月より開始されているが、勤務時間管理自体が有名無実化し、昼休み相談のみが実施されるというところになるのではないかという指摘も出ている。また、今回の伝達では「休憩室等の拡充が無理な場合」が存在することを認めて簡易な間仕切りにも言及しているように、性急で

職員が納得できる結論に達するまでの間は 伝達施策の凍結を

伝達は納得できない内容であるので、再検討を申し入れる。
伝達内容は、その眼目が確明期の昼休み相談の実施という大きな政策変更にあると考えられるところ、そのことに明確な言及もなく、さらに重大な方針の変更にもかかわらず、この曖昧不確かな伝達はどういふことなのか明確な説明を求める。伝達は勤務時間管理の徹底を述べているが、肝心な方策への言及が見当たらない。つまり宣言したに過ぎない代物である。かえって、割振りの種類を増設するといったことから、勤務時間管理を一層複雑・困難にするものとなっている。このことは、職員の間にある昼休みの休憩時間がとれない、とりこいという声に応える体裁をとりながら、税務署の昼休み窓口

完全開放に踏み切ろうとするものであって、言葉が悪いが、これは詐欺的手法ではないか。しかも、昼休みの窓口業務はより拡大されるのであるから、なお一層休憩時間確保が困難になるのではないか。

寺澤元長官
日曜開庁だ！
2月の2回だけではないか職員に負担をかけると言っている

昼休み相談強行に抗議 伝達の撤回求める書記長談話

一、11月19日、国税庁は昼休み相談を強行すると伝達してきた。伝達は、休憩時間を確保するため

一、私たちが以下の理由から、一切の昼休み時間の相談業務に反対する。
・ 昼休みの一斉取得は労働者の権利である。
・ 厳正管理の掛け声だけでは確保できない真の原

現在、複雑な割振りを強いる。
・ 休憩場所の確保を「可能な限り」と努力目標に矮小化した。簡易なパーテーションで職員がやすらぎ、健康を保持することができないのは明白である。

職員の間管理は不可能であり、管理責任は負えない。また「労働者である管理職の休憩時間をも奪いかねない」。

・ 確明期昼休み相談は審査等の事務を圧迫し超過勤務を増加させる。職員労働強化は必至であり、健康をないがしろにするものである。



一、11月19日、国税庁は昼休み相談を強行すると伝達してきた。伝達は、休憩時間を確保するため

一、私たちが以下の理由から、一切の昼休み時間の相談業務に反対する。
・ 昼休みの一斉取得は労働者の権利である。
・ 厳正管理の掛け声だけでは確保できない真の原

現在、複雑な割振りを強いる。
・ 休憩場所の確保を「可能な限り」と努力目標に矮小化した。簡易なパーテーションで職員がやすらぎ、健康を保持することができないのは明白である。

職員の間管理は不可能であり、管理責任は負えない。また「労働者である管理職の休憩時間をも奪いかねない」。

・ 確明期昼休み相談は審査等の事務を圧迫し超過勤務を増加させる。職員労働強化は必至であり、健康をないがしろにするものである。



コンビニ税務署づくりへ現場を引きまわしてきた面々...

牧野現長官
「時代が変わった」と歴代長官発言バッサバッサと反故に

福田前長官
昼休み対応は「従来どおり」と再確認した直後 昼休み窓口の検討開始だ！

木村元長官
何がなんでも全件入力だ！ 昼休み相談…ムニヤムニヤ…。集中電話催告の土日業務を試行

大武元長官
立ちっ放し巡回指導だ！ 昼休み勤務時間割振りで現場に混乱持ち込む「昼休み相談やらない」と約束

一、11月19日、国税庁は昼休み相談を強行すると伝達してきた。伝達は、休憩時間を確保するため

一、私たちが以下の理由から、一切の昼休み時間の相談業務に反対する。
・ 昼休みの一斉取得は労働者の権利である。
・ 厳正管理の掛け声だけでは確保できない真の原

寺澤元長官
日曜開庁だ！
2月の2回だけではないか職員に負担をかけると言っている

詰将棋

出題 九段 西村一義
中級クラス
ヒント 王方の対応に注意する。
(10分で二段)
持駒 角金

6	5	4	3	2	1
		王	駒	壘	
		金	駒	壘	
				桂	

長い時間をかけた。五カ月間、国税庁では税務署の職員を昼休みに

全国規模の「一元化対策会議」開催

平成21年全署実施は無謀

現場は手探り状態だ



混乱解消されず 「順調」は大本営発表

1-1 全ての相談業務を一元化担当から切り離すこと(全署に複数の相談官を配置し対応)について

各系統事務は奥が深く、マスター可能なのは自系統と他系統一つで、「理想論」で試行に従事させられては堪らない▼納管・入力事務をやりながら輪番で窓口相談に当たるため、事務が頻繁にストップしている▼相談はハンフ＋αから個別照会に移ることが多く、そのすみ分けが困難、そのため相統等は資産、物納は管理にと固定化している▼これまで多くの質問に答えてきた資産や源泉

1-2 一元化担当から現金領取事務を外すことについて

今ほ所得税の申告が少なく時期だから、納管・入力業務は「順調」のようだが、年明けから「猫の手も借りたい」状態になること必至で、また、

大阪局の管理部門の定員は今年で15%減、他局も同様に管理の定員削減に拍車をかけている▼一部増員になっている署もあるが、試行2年目で減員になっている署が多い。およそ全職員の1割程度を想定した一元化要員配置を狙っているとしか思えない▼手が空くと忙しい所に回され、まるで「署内派遣」のような仕事をさせられている。コロナコ変わるベルトコンベアで仕事しているように、誇りも責任も失せていく▼当局は5段階の習熟度自己チェックを求めているが、ノルマにつながるの嫌悪感を与えている。その一方で、アウトソーシングに必要

管理部門中心に「職員2対非正規職員1」をイメージした配置、「ステップ5」はチーフの下に非正規職員を事務処理の主力に位置づけ、ギリギリの体制で「人体実験」をしいると思えない▼現金收受や証明書発行、收受印押等を安易にアルバイト職員に行わせており、法を超越しているという危険を行っているとしか思えない。法現場丸投げ、そのため各署でOJT研修に必要なマニュアルを作成、「手空きのいる人集まれ」式OJTになっている▼相談に必要な税法や申告書処理要領・手順、KS操作何れの研修も不足している状況で、プロバ1が付きつきで教えるのがOJT、現場にそうした余裕は全くなし▼KSK画面赤反転の際、操作等を聞ける相手がないため事務は停滞、後でトクでもないことになり、分担当持たないフリー職員がいてこそOJT研修の実効性が上がる

4 転出入・証明事務の一元処理について

試行の中で、転出入と証明業務は効率化が見込まれ、納税者利便にもつながっていくことが検証できたので、一元処理システムは一刻も早く構築すべき

5 行政責任の棚上げにつながるアウトソーシング規制について

管理部門中心に「職員2対非正規職員1」をイメージした配置、「ステップ5」はチーフの下に非正規職員を事務処理の主力に位置づけ、ギリギリの体制で「人体実験」をしいると思えない▼現金收受や証明書発行、收受印押等を安易にアルバイト職員に行わせており、法を超越しているという危険を行っているとしか思えない。法現場丸投げ、そのため各署でOJT研修に必要なマニュアルを作成、「手空きのいる人集まれ」式OJTになっている▼相談に必要な税法や申告書処理要領・手順、KS操作何れの研修も不足している状況で、プロバ1が付きつきで教えるのがOJT、現場にそうした余裕は全くなし▼KSK画面赤反転の際、操作等を聞ける相手がないため事務は停滞、後でトクでもないことになり、分担当持たないフリー職員がいてこそOJT研修の実効性が上がる

のアドバイザー職員が、一元化に配置された途端、「私の仕事がない」状態に▼実員が減っている課税内部に個別相談させており、そのシワ寄せは膨らむ一方▼音声ガイダンスで一般相談の1を選択する人は少なく、「自分のことだから」と個別の2を押しため電話相談は減らない▼課税部門につながった一般相談をセンターに回すことはできず、当局が描いたようにはいかない、電話相談が確実に減るとの見通しもない▼集中化により回線が切れる障害が発生している▼これまで多くの質問に答えてきた資産や源泉

グに必要な「習熟度」を模索しているようだ▼一元化担当では、スキルアップの時間や新たな発想をするための時間まで奪われ、「効率化」の弊害がモロに出てくる

3 税法・事務提要研修等を抜本的に改善し、OJTも含めたマニュアル等の拡充について

当局の言うOJT研修は本来の意味をはき違えて、マニュアルも作らず現場丸投げ、そのため各署でOJT研修に必要なマニュアルを作成、「手空きのいる人集まれ」式OJTになっている▼相談に必要な税法や申告書処理要領・手順、KS操作何れの研修も不足している状況で、プロバ1が付きつきで教えるのがOJT、現場にそうした余裕は全くなし▼KSK画面赤反転の際、操作等を聞ける相手がないため事務は停滞、後でトクでもないことになり、分担当持たないフリー職員がいてこそOJT研修の実効性が上がる

「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。

「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。

11月22～23日、「第42回全国税行(二)集会」を香川県坂出市内で開催しました。

集会では、税務の行(一)職昇格の劣悪さが討議される中、国公労連の行(二)集会に参加した大平さん(関信)・日立分(会)から、「他の国公の用務員は私より若くして3級になった」とは恥ずかしくて言えなかったとの報告があり、せめて他省庁なみの昇格



行(二)の給料わかる幹部がない もっと向きあって欲しい

確保させる緊急性を確認しました。

来年度定年退職の鎌田さん(四国・丸亀分会)を2級にすえおく当局の冷酷な対応に、他の行(二)職員も不信感を強めていたことが報告されました。

退職者後補充を行わないため(一)職員は減少の一途を辿り、希望できる勤務地は「現在の勤務署以外にない」職員が急増する中、他署への配転を強要されないか

戦々恐々の状況です。「私たちの給与を知っている幹部はいなくなつた」との怒りの報告もあつていました。署長が行(二)職員の昇格で努力する様子はいみじみ、超勤手当はみられず、超勤手当問題でも係長まかせで、自分たちに向き合っていない。そのため、希望できる勤務地は「現在の勤務署以外にない」職員が急増する中、他署への配転を強要されないか

度大の管理部門の定員は今年で15%減、他局も同様に管理の定員削減に拍車をかけている▼一部増員になっている署もあるが、試行2年目で減員になっている署が多い。およそ全職員の1割程度を想定した一元化要員配置を狙っているとしか思えない▼手が空くと忙しい所に回され、まるで「署内派遣」のような仕事をさせられている。コロナコ変わるベルトコンベアで仕事しているように、誇りも責任も失せていく▼当局は5段階の習熟度自己チェックを求めているが、ノルマにつながるの嫌悪感を与えている。その一方で、アウトソーシングに必要

管理部門中心に「職員2対非正規職員1」をイメージした配置、「ステップ5」はチーフの下に非正規職員を事務処理の主力に位置づけ、ギリギリの体制で「人体実験」をしいると思えない▼現金收受や証明書発行、收受印押等を安易にアルバイト職員に行かせており、法を超越しているという危険を行っているとしか思えない。法現場丸投げ、そのため各署でOJT研修に必要なマニュアルを作成、「手空きのいる人集まれ」式OJTになっている▼相談に必要な税法や申告書処理要領・手順、KS操作何れの研修も不足している状況で、プロバ1が付きつきで教えるのがOJT、現場にそうした余裕は全くなし▼KSK画面赤反転の際、操作等を聞ける相手がないため事務は停滞、後でトクでもないことになり、分担当持たないフリー職員がいてこそOJT研修の実効性が上がる

「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。

「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。

詰将棋

▲解き方

▲2三角△3二飛▲同角成△同玉▲3三飛△2二玉▲2三金△2一玉▲3一飛成△同玉▲4二銀△2一玉▲3三桂不成△1手詰

▲解き方

▲2三角に△3二飛が正着で△3二金なら▲3三桂不成△5一玉▲6二金で▲3二同角成と飛車を取り、以下は手順の迫詰となる



「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。

「近畿地連」

「行きたくない署」

では、徴収の統括官が一カ月前から休暇を取っている。ここは難しい納税者が多くワースト2の職場だ。統括官は仕事を休んだら、前任の統括官も病気になる。上司に降格させられている。